

奥多摩：つづら岩 馬頭刈尾根

- ◆日程 2020年1月13日(祝月)
- ◆メンバー L：小林義、西山、佐藤俊
- ◆天候 晴天

つづら岩で登攀練習、その後馬頭刈尾根で下山する。つづら岩には武蔵五日市駅からバスに乗り、降車口から1時間半強の登山となる。

岩場は比較的狭く、先行パーティが1組だけ来ていた。まずは東面の10メートルから始めます。トップロープで2回ずつ登り降りを行い、南面の左ルート(IV)に臨みました。2ピッチのルートで、ホールドは良いものの壁が立っており気の抜けない感じです、今回はすべて小林さんリードで行って貰いました、1ピッチ目終了点 テラスの立ち木に乗り、2ピッチ目の準備、ロープを捌き佐藤、西山それぞれにロープを掛けて二人ビレイでロープを送る。トップが終了点に到達して支点構築、待っている間がとても緊張する。2ピッチ目を登り終え急いで昼食、直ぐにつづら岩を後にし 馬頭刈尾根を下山した。(記：佐藤俊)

本当にクライミングをやる覚悟が自分にはあるのか？意思をもって決めるべき時期じゃないのか？向き合い方に少し悩み自問自答していました。安全に関することを一つひとつ身につけていくことで曖昧な感情が整理されるように思え、やっぱり岩登りは楽しい！という気持ちにもなりました。つづら岩に行けてよかったです。小林義雄さん、佐藤さん、ありがとうございました。(記：西山)

一昨年、腰の故障で入院、その後の山スキーで再発、外岩に取り付くのは2年ぶり、不安を心の隅に抱えながらであった。最初の東面をリード、トップロープを掛けるべきだったと怖くて体が震えた。南面に移り左ルートを3人で登り馬頭刈尾根を下る。バス停の軍道へ西山さんは必死に先頭を走る。バスを止めてくれ年寄が最後にノコノコと乗車した。締めは昔よく行った中華からなんでもあり「音羽鮎」で乾杯。登降の歩きを伴うつづら岩は本チャンに近くトレーニングには良いかもしれない。今回こんなに暖かい岩トレでラッキーだった。(記：小林)

CT：千足バス停 8:20 - 10:00 つづら岩 14:20 - 馬頭刈山 15:40 - 軍道バス停 16:47

- ① オケラルート III
 ② 無名 IV
 ③ リーダースピッチ V
 ④ 左ルート IV
 上部右に分かれるのは腕力ルートIII (V-)
 ⑤ つり上げルート(腕力ルート) V+
 クラック直上は腕力ルートII (V-)
 ⑥ 中央クラックルート V
 ⑦ 三段ハンブルート V+
 ⑧ 5.10c
 細かなホールドと身体の振りで登るフェイス。
 ⑨ V+
 ⑩ IV+
 ⑪ 一般ルート IV
 ⑫ 左ジェードル VI-
 ⑬ 残業ルート V
 ⑭ 右ジェードル V
 ⑮ 右クラック IV

つづら岩南面ルート

